

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

No.34

令和2年4月30日 文責 校長 林 寛



GW (ゴールデンウィーク) ⇒ がまん・がんばろうウィークに

再度の臨時休業となり10日が過ぎました。更に5月10日(日)までに延長するということになり、子供たち、各家庭への負担が増すばかりで、心配しています。新聞やテレビのニュースでは、新型コロナウイルスによる全国の感染者数の統計や佐賀県内でのクラスターの発生、全国高校総体の中止、著名人の死去などについて報道され、なかなか収束が見えてきません。子供も大人も「臨休疲れ」を感じているのではないかと思います。毎日の検温や手洗い・うがいの励行、室内の換気、可能な限り人との接触を避けるなど「臨休疲れ」によって、ついつい気持ちが緩み始めるのではないかと心配しています。ここまで10日間の我慢や辛抱が、気持ちの緩みによる行動によって、無駄になってしまわないように、学校再開まで残りの10日間のGWを「がまん・がんばろうウィーク」として過ごしてほしいと強く思います。テレビやネットのニュースを見ていると、暗い話題ばかりではなく、人と人の助け合いや、つながり、助け合いなど心が温くなるものもたくさんあります。家族で一緒に過ごす時間の中でぜひ取り上げていただいて、子供たちの心のエネルギーを補充してあげてください。

他にも学校のホームページで紹介しています

家で どう過ごす？

臨時休業中の子供たちを支援するために、インターネット上でいろいろな取り組みがされています。学習だけでなく、体を動かしたり、トレーニングしたり、制作したり……単調な生活にうまく取り入れることができると、子供たちの視野を広げる良い機会になるのではないのでしょうか？いくつか紹介します。ちょっとのぞいてみてください。

やさしくまるごと〇〇



学研が配信している国算社理の授業動画

学研ライブラリー



学研が配信しているまんが入門シリーズや日本の歴史など

家で楽しめる運動あそび



日本レクリエーション協会のサイトで、室内でできる活動も紹介

今スポーツにできること



日本サッカー協会のサイトで、代表選手のメッセージやゲームなどを紹介

虐待？体罰？しつけ？

各地域の首長さんたちが STAY HOME と呼びかけている中で、「子供への虐待」や「配偶者やパートナー間のDV」といった事案の増加が報告されています。ストレスが増え、イライラが積もってしまいがちなこの事態ではありますが、吉野ヶ里町ではそういう事案が起きませんようにと願います。親がしつけのためだと思っても、子供の身体に何らかの苦痛を引き起こし、または、不快感を意図的にもたらす行為(罰)である場合は、どんなに軽いものでも体罰に該当し、法律で禁止されています。(A～Iの行為をどう思いますか)

- A 言葉で3回注意したけど言うことを聞かないので頬を叩いた B 他人の物を取ったのでお尻を叩いた
 C 大切なものにいたずらしたので、長時間正座させた D 宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった
 E 友達を殴ってけがをさせたので、同じように殴った F 掃除をしなかったので、雑巾を顔に押し付けた
 G やる気を出させるという口実で、きょうだいを引き合いに出してけなした
 H 冗談のつもりで「お前なんか生まれてこなければよかった」など存在を否定するようなことを言った
 I 車道に飛び出そうとしたので子供の腕を強くつかんで引っ張った (A～Fは体罰、GとHは子供の人権を侵害しています)

※今回の校長室だよりは、臨時休業中のため、学校HP上でお届けします。学校再開についての情報は、マチコミメールや学校や町のホームページでお知らせします。